



がんばろう！東北

災害 特集号

台風19号の対応について

防災技術部

1. 台風19号の概要

台風19号は、10月12日（土）19時前に、非常に強い勢力を保ったまま伊豆半島に上陸し、その後、関東地方や東北地方を縦断しました。

東北地方で観測されている213箇所の雨量のうち、34観測所で24時間降水量が観測史上最大を記録した。中でも、宮城県丸森町の筆甫観測所で594mm、同町大内観測所で612mm、宮城県加美町青野観測所で410mmの雨量を観測した。

これにより、直轄河川では27箇所で越水、溢水が、2箇所で堤防が決壊し、甚大な浸水被害が発生しました。直轄国道では6路線28箇所です砂崩壊や路面冠水等により通行止めを余儀なくされました。

2. 防災エキスパートの派遣状況

台風19号が日本列島に上陸する前の9月11日には、東北地方整備局福島河川国道事務所、仙台河川国道事務所、北上川下流河川事務所の各河川出張所に派遣する防災エキスパートの派遣人員を既に定め、「いざ鎌倉！」に備えておりました。

10月12日15時に福島河川国道事務所からの出動要請を皮切りに、北上川下流河川事務所、仙台河川国道事務所の事務所・出張所へ防災エキスパートを派遣しました。派遣要請を待たずに福島河川国道事務所と郡山出張所に自主参集していただいた防災エキスパートもあり、その意識の高さに頭が下がる思いでした。

河川及び機械関係の防災エキスパートの派遣が主でありましたが、10月23日に郡山国道事務所からの派遣要請を受け、道路関係の防災エキスパートを派遣しました。10月12日～10月26日までに述べ57名の防災エキスパートを派遣しました。

派遣事務所と主な活動支援内容

派遣事務所	活動期間	活動人数 (延べ)	活動内容
北上川下流河川事務所	10月12日～ 10月21日	28人	情報収集、緊急復旧、排水処理
福島河川国道事務所	10月12日～ 10月24日	22人	情報収集、緊急復旧、排水処理
仙台河川国道事務所	10月13日	3人	情報収集
郡山国道事務所	10月12日～ 10月24日	4人	道路法面及び橋梁点検

災害特集号

防災エキスパートの活動は、H9年9月より開始されていますがその間、毎年のように東北管内で災害等が発生しております。

その中でもH10年8月阿武隈川大洪水、H15年7月宮城県北部地震、H20年6月岩手・宮城内陸地震、H23年3月の東日本大震災、H27年9月関東・東北豪雨などの大きな傷跡を残した災害が発生し、その都度防災エキスパートが派遣され、災害対応に当たっています。未曾有の災害となった東日本大震災では延べ328人の防災エキスパートが派遣されましたが、今回の台風19号では延べ57人の防災エキスパートが派遣され、東日本大震災に次ぐ派遣人員を記録しました。

また、東北地域づくり協会でも防災エキスパートの後方支援として、述べ45人の職員を投入し、活動を支援しました。

災害対応写真

北上川下流河川事務所、福島河川国道事務所、仙台河川国道事務所、郡山国道事務所



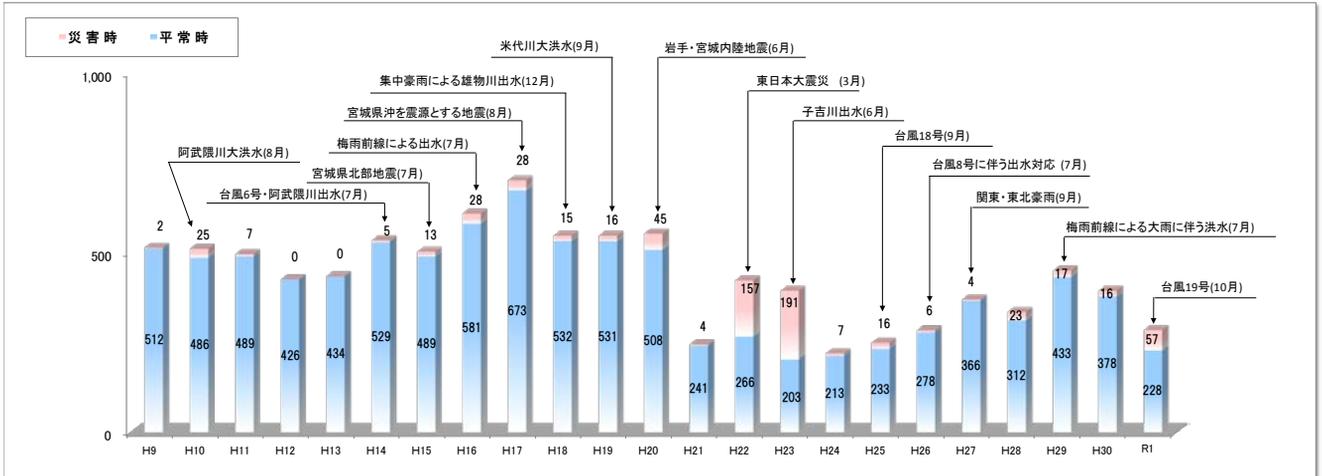
台風19号対応は東日本大震災に次ぐ派遣規模となった。

災害特集号

防災エキスパート出動状況 ※平常時・災害時別（東日本大震災含む）
2019年10月26日 現在

■ R1は暫定値

年度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
平常時	512	486	489	426	434	529	489	581	673	532	531	508	241	266	203	213	233	278	366	312	433	378	228
災害時	2	25	7	0	0	5	13	28	28	15	16	45	4	157	191	7	16	6	4	23	17	16	57
合計	514	511	496	426	434	534	502	609	701	547	547	553	245	423	394	220	249	284	370	335	450	394	285



*R1災害時活動は10月26日現在で集計
平常時活動については、9月末日現在の活動人数

3. 防災エキスパート意見交換会を開催

防災エキスパート活動を今後に向けより充実を図るため、台風19号対応で派遣された防災エキスパートによる意見交換会を11月20日に実施しました。

派遣された32名の防災エキスパートのうち24名の出席と東北地方整備局からも出席を頂き、総勢33名が意見交換会となりました。

整備局からの台風19号の概要や河川、道路における災害対応等に関する報告のあと、今回の防災エキスパート活動を通しての活動の課題や改善点、今後の防災エキスパートに求められている活動体制等について意見交換を実施しました。

意見交換では、活動する上での防災エキスパート自身の安全確保のあり方、支援の内容や情報共有のあり方、災害時における整備局の事務所・出張所の体制のあり方に関する意見が交わされました。

災害時の支援を行うにあたっては、普段から整備局の事務所・出張所職員とのコミュニケーションの確保こそが有事の際の円滑な活動に繋がるとの意見も出され、非常に有意義な会議となりました。



TOPICS

2019年

青森

平常時活動

2019「実践型 道路災害復旧訓練」

防災エキスパートが作業指導

2019 実践型 道路災害応急復旧訓練 青森河川国道事務所

青森河川国道事務所では、令和元年9月20日(金) 東北町南平放牧地において、近年の全国各地で頻発する自然災害の発生状況に鑑み、集中豪雨等の災害発生を想定し、模擬災害発生時現場での「実践型道路災害応急復旧訓練」が行われました。

訓練内容

集中豪雨と地震の複合災害により、国道4号の法面が数箇所崩壊し、交通障害が発生したという想定で行った。

- ・被災箇所発見→交通障害の処理→被災箇所の調査(測量等)～応急復旧方法の立案～資機材調達～施工(応急復旧)まで災害統括本部との情報伝達を含めた一連の動作確認。
- ・実復旧活動として、機械施工班×2班および国土交通省職員による人力施工班×2班計4班による応急復旧を実施。



防災エキスパート(青森登録)7名が派遣依頼を受け、作業指導等を行いました。

新規にご登録いただきました。

令和元年4月1日～10月31日現在まで、**防災エキスパート新会員として、27名の方が新たに登録されました。**

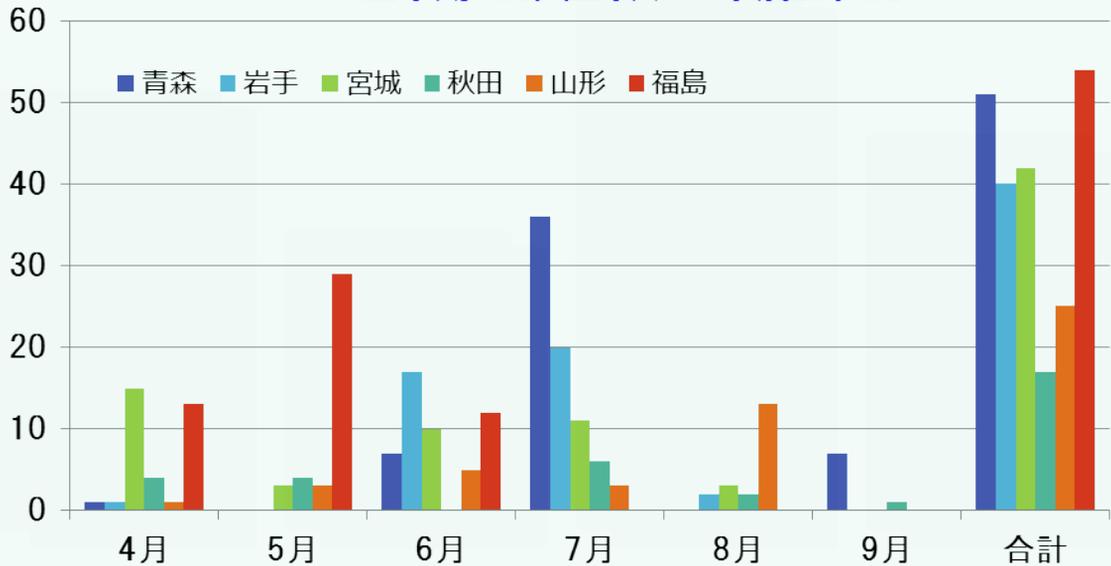
番号	氏名	登録県	登録事務所
1	後村 秀樹	宮城	仙台河川国道,岩沼国道維持(出),仙台西国道維持(出),鳴子国道維持(出)
2	稲葉 護	宮城	仙台河川国道,岩沼(出),名取川(出)
3	大入 敏夫	宮城	仙台河川国道
4	大場 将	宮城	釜房ダム(管),七ヶ宿ダム(管)
5	加藤 秀喜	山形	仙台河川国道,山形河川国道,新庄国道維持(出),山形国道維持(出)
6	木村 正行	岩手	
7	栗田 信博	宮城	仙台河川国道
8	今野 敬二	秋田	秋田河川国道,本荘国道維持(出),秋田国道維持(出),角館国道維持(出),能代国道維持(出)
9	佐藤 博明	宮城	仙台河川国道,仙台東国道維持(出),仙台西国道維持(出)
10	菅原 弘敏	山形	山形河川国道,長井(出),寒河江(出),南陽(出)
11	高橋 弘典	秋田	湯沢河川国道
12	舘山 悟	青森	浅瀬石川ダム(管),能代河川国道
13	田村 寿	秋田	能代河川国道,大館国道(出),能代国道維持(出)
14	槻山 敏昭	宮城	岩手河川国道,仙台河川国道,岩沼(出),角田(出),名取川(出),秋田河川国道
15	土田 恒年	秋田	鳴子ダム(管),湯沢河川国道,大曲(出)
16	中新田 由雄	宮城	仙台河川国道
17	原田 吉信	宮城	
18	樋口 和則	山形	山形河川国道,山形国道維持(出)
19	森 禎一	宮城	七ヶ宿ダム(管),福島河川国道,摺上川ダム(管)
20	山尾 昭	宮城	釜房ダム(管)
21	安達 憲一	宮城	仙台河川国道,仙台東国道維持(出),岩沼国道維持(出)
22	島田 正義	宮城	仙台河川国道,岩沼国道維持(出)
23	東海林 寿	秋田	秋田河川国道,本荘国道維持(出),酒田河川国道
24	長澤 俊明	宮城	
25	渡部 健彦	福島	仙台河川国道,福島河川国道,福島国道維持(出),栗子国道維持(出),郡山国道郡山維持(出),会津若松維持(出),安積(出)
26	濱田 浩	青森	ロジ
27	細川 修一	岩手	ロジ

2019年度上半期 県別防災エキスパート活動内容紹介

今年度も、災害時に備え、平常時の活動や意見交換会等で防災エキスパートの皆さまには多くの活動に参加していただいております。

活動人数

上半期 防災エキスパート活動状況



県	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
4月	1	1	15	4	1	13
5月	0	0	3	4	3	29
6月	7	17	10	0	5	12
7月	36	20	11	6	3	0
8月	0	2	3	2	13	0
9月	7	0	0	1	0	0
合計	51	40	42	17	25	54

青森支援状況 51名

青森河川国道事務所

- ・【7月】堤防決壊時の緊急災害対策シミュレーション
- ・【7月】「実践型道路災害復旧訓練」での作業指導

●五所川原出張所

- ・【7月】重要水防箇所合同巡視
- ・【7月】水防工法訓練(講師)

●八戸出張所

- ・【7月】重要水防箇所合同巡視
- ・【7月】水防工法訓練(講師)

●藤崎出張所

- ・【7月】重要水防箇所合同巡視
- ・【7月】堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

高瀬川河川事務所

- ・重要水防合箇所同巡視及び水防工法訓練

岩手支援状況 40名

岩手河川国道事務所

- ・【7月】防災エキスパート意見交換会
- ・【8月】堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

●盛岡出張所

- ・【6月】重要水防箇所合同巡視

●水沢出張所

- ・【6月】重要水防箇所合同巡視

●一関出張所

- ・【6月】重要水防箇所合同巡視

宮城支援状況 42名

仙台河川国道事務所

- ・【7月】防災エキスパート意見交換会
- ・【8月】堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

●阿武隈大堰管理分室

- ・【5月】重要水防箇所合同巡視

●角田出張所

- ・【5月】重要水防箇所合同巡視

北上川下流河川事務所

- ・【6月】石巻工業高校との水防工法合同訓練

●大崎出張所

- ・【4月】徒歩巡視(出水期前)
- ・【6月】重要水防箇所合同巡視

●鹿島台出張所

- ・【6月】重要水防箇所合同巡視
- ・【7月】堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

●飯野川出張所

- ・【4月】徒歩巡視(出水期前)
- ・【6月】重要水防箇所合同巡視
- ・【7月】堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

●米谷出張所

- ・【4月】徒歩巡視(出水期前)
- ・【5月】重要水防箇所合同巡視

●涌谷出張所

- ・【4月】徒歩巡視(出水期前)

●鳴瀬出張所

- ・【4月】徒歩巡視(出水期前)

福島支援状況 54名

福島河川国道事務所

- ・【4月】阿武隈川上流堤防徒歩点検
- ・【4月】阿武隈川上流総合水防演習事前指導(水防工法)
- ・【5月】荒川堤防調査(臨時)
- ・【5月】阿武隈川上流総合水防演習リハーサル
- ・【5月】阿武隈川上流総合水防演習
- ・【6月】防災エキスパート意見交換会

秋田支援状況 17名

秋田河川国道事務所

- ・【7月】堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

●茨島出張所

- ・【4月】堤防等河川管理施設及び河道の点検
- ・【7月】重要水防箇所合同巡視

●子吉川出張所

- ・【4月】堤防等河川管理施設及び河道の点検
- ・【5月】洪水対応演習
- ・【7月】重要水防箇所合同巡視

湯沢河川国道事務所

- ・【8月】堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

●十文字出張所

- ・【5月】洪水対応演習

●大曲出張所

- ・【5月】洪水対応演習

能代河川国道事務所

- ・【7月】堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

●鷹巣出張所

- ・【5月】洪水対応演習

●二ツ井出張所

- ・【9月】令和元年度総合防災訓練

山形支援状況 25名

山形河川国道事務所

- ・【8月】最上川上流における堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

●長井出張所

- ・【5月】洪水対応演習

●寒河江出張所

- ・【7月】最上川上流における堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

酒田河川国道事務所

- ・【7月】堤防決壊時の緊急対策シミュレーション

●赤川出張所

- ・【5月】洪水対応演習

新庄河川事務所

- ・【5月】洪水対応演習
- ・【6月】土砂災害危険箇所等合同点検
- ・【6月】重要水防箇所合同点検
- ・【8月】令和元年度重要水防箇所合同巡視



編集後記

7月1日より東北地域づくり協会防災技術部長に就任しました土田です。

台風19号の災害対応に多くの防災エキスパートに出動いただきありがとうございました。東北地方整備局はじめ各事務所からは御礼と感謝の言葉が寄せられています。

さて、「災害列島日本」と呼ばれて久しいですが、私の中で大変印象に残っている出来事が平成27年9月に発生しております。それは、関東・東北豪雨による「洪水・土砂災害」、東京湾で震度5弱の「地震」、阿蘇山の「噴火」、南米チリ地震による遠地「津波」と、わずか9日間に日本で発生した事象であり、まさに「災害列島日本」を象徴する出来事でした。

その後も平成28年8月の「広島土砂災害」、平成29年7月の「九州北部豪雨」、平成30年7月の「西日本豪雨」と、甚大な大災害が発生するなど、平成は災害の時代と呼ばれましたが、令和の新しい時代になって早々台風19号が発生し、今後どのような災害が待ち受けているのでしょうか。

平成8年2月7日に「東北地方防災エキスパート」が制度化され、今年で23年目の年を迎え、防災エキスパートの活動は、今後生起が確実にされている首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模災害発生時に東北管内を超えて広域支援する事が期待されているところであります。

東北地域づくり協会における防災活動については、東北管外でも支援ができるよう、今年の6月25日に東北地域づくり協会の定款の一部を変更しました。これにより、防災エキスパートの広域支援としての活動が可能となりました。

それを受けて、防災エキスパートの活動体制の再構築に向けた検討を行っており、制度の更なる充実、効率かつ効果的な災害支援活動に向け準備を行っているところです。

皆様におかれましては、防災エキスパートのより一層のご理解・ご協力をよろしくお願いします。

防災エキスパート事務局

(一般社団法人東北地域づくり協会 防災技術部)

TEL:022-268-4711

FAX:022-227-5244

E-mail:gijyutsukikaku@kyokai.or.jp